

令和7年度 第2回学校運営支援協議会

期 日 令和7年12月 2日 (火)
時 間 13:55～15:30
場 所 会議室

【次 第】

1 開 会

2 授業参観

3 会長挨拶

4 校長挨拶

5 協 議

(1) 児童の学習の様子について (各学年授業参観)

(2) 令和7年度学校運営の状況について

(3) ワークショップ

(4) その他

6 閉 会



令和7年度 創立30周年記念事業「BAKERUの学校」

一関市立舞川小学校

令和 7 年度学校運営の状況について

1 学校経営上の重要課題と解決に向けたおもな取組

(1) 学級経営の安定		
ア	指導力の向上及び特別な支援を要する児童への組織的な支援	情報共有と状況に応じた組織的な支援の構築を図っている。
イ	児童の気持ちに寄り添った指導	副校長、生徒指導主事を中心とし、情報共有及び対応の方向性の足並みをそろえている。
(2) 学力向上への取組		
ア	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を意識した授業改善	研究主任を中心に校内研究を推進し、授業改善に努めている。
イ	「確かな学力育成プラン」に基づいた学力向上策の推進	舞小タイム、昼活動で、月ごとにテーマを決め、取り組んでいる。
(3) 特別支援教育の充実		
ア	「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」に基づく継続的な指導	副校長、特別支援コーディネーターを中心とした組織的対応をしている。
イ	保護者・関係機関との連携	情報共有、相談に密に応じるよう努めている。

2 前年度の学校評価・経営反省、各種調査結果等の活用による今年度の経営

(1) 組織的な対応を目指して		
ア	気になることはすぐに報告・相談を行う →組織的対応の検討、早期対応と適切な初期対応に	組織の中での役割を確認しながら多角的対応に努めている。
イ	児童・職員のウェルビーイング（職員が心身ともに健康な状態で児童の前に立てるように。児童の自己肯定感・自己有用感の向上。）	・ノー残業デー (6/16、9/22、10/28、11/19) ・登校不安を抱える児童なし。
(2) 「新規不登校者 0」「いじめ見逃し 0」を目指して		
ア	児童の気持ちに寄り添った温かい指導の呼びかけ	授業を中核とした生徒指導の充実を図っている。
イ	学校生活（いじめ等）に関するアンケート及び面談を通して児童理解に努めることの確認	① 6 月 ② 10 月
ウ	保護者との連携を適切に行い、同じ方向を向いた指導につなげる	保護者との対話を大切にし、情報共有に努めている。
エ	望ましい生活習慣の定着、メディア利用の自己管理（「みつめようカード」「家庭学習強化週間」のタイアップ）	① 6 月 30 日～7 月 6 日 ② 11 月 25 日～12 月 1 日

3 人材育成に向けた具体的な取組

(1)	勤務状況確認シート・育成指標セルフチェックシートの活用 → 面談を通して、状況の確認と目標や手立ての共有	6 月、10 月面談の実施
(2)	若手教師及び講師への支援と転入職員へのケア → 風通しのよい職員室風土の醸成	授業、児童理解等について語り合える集団になってきている。
(3)	主任層へのサポート → 分掌業務の軽減	今年度の反省を生かし、次年度の分掌業務を見直していく。

4 特色ある復興教育の取組と防災関連の取組

(1) 復興教育：「かかわる」(地域連携)		
ア	創立 30 周年行事を通じた地域の学校としての振り返りと新たな価値づけ 	11/5 30 周年行事「BAKERU の学校」(文化庁事業：WOW 株式会社、縦糸横糸合同会社)
イ	伝承芸能活動(相川地区「鹿子躍」、舞草地区「鶏舞」) 継続可能な活動に 	3 年生以上の児童による伝承芸能活動。お師匠さんから教わる。13 回。 10/25 学習発表会での披露。
(2) 防災取組：年 5 回の避難訓練		
ア	①スクールバス (4/11) ②火災 (5/2) ③シェイクアウト (6/13) ④不審者侵入 (8/29) ⑤火災 (10/31) ⑥クマから身を守る学習会 (12/1) 	
イ	SB 運転手との学期末情報交換会や日常的連携を重視	7/3、12/9

5 生徒指導関係等

(1) 12 月 1 日現在の状況

	R 7		R 6		その他の生徒指導面での課題
不登校	0 件		1 件		
いじめ	2 件	解決 1 件	0 件	解決 0 件	

(2) いじめ防止、早期発見、対処のために留意すべきこととして、職員で確認した事柄

- ・児童の日常観察を通して気になる児童について職員会議・職員朝会で情報共有する。
- ・「いじめ見逃し 0」を目指し、学校生活アンケート及びアンケート後の全員面談の確実な実施

6 その他

(1)	超過勤務時間の縮小に向けた取組 職員の意識改革と ICT 活用の推進、ノー残業デー	ノー残業デーの実施
(2)	児童数減少のため、花壇の数を縮小 (R6～) 18 民区ごとの活動から 12 縦割り班ごとの活動へ 	6/6、11/6 女性団体連絡協議会、児童民生委員、地域の方による花壇整備 6/12 花の苗植え 11/17 球根植え

4 協議

(1) 授業参観(全学年) 13:55~14:25

(2) 令和7年度の学校運営の状況について(口頭説明) 14:35~14:45

メモ

【質疑応答】

(3) ワークショップ(グループ協議) 14:50~15:30

<グループ分け>

A: 舞川課題協会長 小野寺 千秋様 舞川幼稚園長 佐藤 千代様 防犯協会長 芦萱 貞夫様
PTA会長 佐藤 麻衣様

B: 市民センター長 小野寺 政吉様 舞川中校長 今川 晋様 鹿子躍保存会長 佐藤 浩一様
社会福祉活動推進協議会長 氏家 壽栄様 児童クラブ事務局長 千葉 綾子様

主任児童委員 小野寺 美智子様(欠席) 女性団体連絡協議会長 新川 直子様(欠席)

今回のテーマ【クマ対策：登下校の安全を守るためにどうすればいいか】

<進め方>

- ・自己紹介→司会者・記録者・発表者を決める。(14:50~14:55)
- ・グループごとに、登下校の安全を守るためにどうすればいいのか、自由にたくさん出し合う。
(14:55~15:10)
- ・それらを整理して、それぞれの立場・団体でどんなことができるか、どのように関わっていくことができるか意見を出し合う。(15:10~15:25)
- ・全体共有の場を設ける。(グループごとに発表) (15:25~15:30)

ワークショップ（グループ協議）記録表

（ ）グループ

【テーマ】 クマ対策：登下校の安全を守るためにどう

すればいいか

話題になったこと

それぞれの立場・団体でどんなことができるか 等

【ワークショップを進める上でのポイント】

- ◎他の人の意見を否定しない。
- ◎必ず1回以上は話をする
- ◎必ずしも答え（解決策）はいらない
- ◎話しやすい雰囲気を作る

【ワークショップ メモ】

【全体交流】